

新年のご挨拶

日本内燃機関連合会
会長 高畑 泰幸

新年明けましておめでとうございます。

年頭に当たり、日本内燃機関連合会(日内連)を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

2024 年を振り返りますと、国内では 1 月 1 日に石川・能登地方を震源とする最大震度 7 の地震が発生し、2 日には東京・羽田空港の滑走路で旅客機と海上保安庁機が衝突、炎上する事故がありました。政治では、自民党派閥の政治資金規正法違反が大きな問題となり、10 月の衆院選で、与党の獲得議席が過半数割れとなりました。又、2023 年度名目 GDP は、円ベースでは過去最高額となるも、円安によりドル換算でドイツに抜かれ世界4位に転落したことが 2 月に報じられました。円安は更に進み 7 月には 160 円を超え、関連して物価が高騰し家計に大きな影響を及ぼす状況となりました。

国外では、2022 年 2 月のロシアの侵攻から始まったウクライナ戦争は 2024 年にも終息には至りませんでした。一方、パレスチナのガザ地区で大規模な戦闘が始まって 1 年以上が経過しましたが、本稿執筆時点(12 月下旬)ではイスラエルとハマスによる停戦交渉での合意の兆しが報じられています。国際政治では、ロシア、米国での大統領選、台湾での総統選と大きな選挙があり、ドイツの連立政権崩壊、議会解散と総選挙(2025 年 2 月)、フランスでの内閣不信任、首相辞任が報じられました。更に 12 月にはシリアのアサド政権崩壊、韓国での非常戒厳宣布、大統領の弾劾案可決と大きな出来事が続いた 1 年でした。

我々の業界が直面する大きな課題は、国際海運における脱炭素化ですが、2024 年には欧州域内を発着する船舶が GHG 排出量取引制度(ETS)の対象となり、海運会社は排出量に応じた排出枠の購入が義務付けられることとなりました。また 2025 年からは、FuelEU Maritime 規制が導入され、船舶が使用した燃料のエネルギー当たりの GHG 排出量(GHG 強度)の年間平均値に上限値が課せられます。ここで、GHG 強度は Well-to-Wake で評価され、海運会社単位で計算されます。また、IMO は 2023 年の MEPC80 で、GHG 削減戦略を改定し、「2050 年頃までに国際海運よりの GHG 排出ゼロ」を新たな目標としましたが、その後の MEPC で、GHG 強度を段階的に規制する「技術的手法」と GHG 排出に対する課金と還付からなる「経済的手法」の組み合わせた中期対策案を検討しています。IMO の排出削減目標の一つに、2008 年対比で 2030 年迄の GHG 排出量 20% 削減があり、既にバイオ LNG、グリーンメタノール、アンモニア等のカーボン ニュートラル燃料での運航が可能な DF 機関を備えた船舶の発注が続いていますが、2030 年目標の実現には石油換算で最大 48 百万トンのカーボンニュートラル燃料が必要なのに対し、2030 年に全産業セクターで利用可能なのは最大でも 63 百万トンに過ぎないと予測されています。この様にカーボン ニュートラル燃料の供給が限られるとの状況から、脱炭素化の為に他の手法として、船舶のトータルな推進効率の向上、船上 CCS、停泊中の陸電使用等が検討されています。カーボン ニュートラル燃料対応機関の実用化に加え、我々の業界が果たすべき役割はこれまで以上に大きくなると思われます。

さて今年の 5 月 19 日～23 日には、第 31 回の CIMAC 大会がチューリッヒで開催されます。チューリッヒ中央駅から徒歩約 20 分の Zurich Convention Center が大会会場となります。大会プログラムは Emission reduction、Alternative fuels、Dual fuel、New engine 等 20 のセッションで構成されており、アンモニア、メタノール、水素、バイオ等の代替燃料対応機関及び後処理技術、船上 CCS、燃料改質、レトロフィット技術、燃料電池などの興味深い研究成果が報告されます。この他にも Pecha Kucha セッションでの発表、ポスターでの論文発表、3 件の基調講演、2 件のパネルディスカッションが行われ、金曜日には WinGD、Accelleron、Duap へのテクニカルツアーが計画されています。第 31 回 CIMAC 大会への皆様の積極的な参加をお願いいたします。

最後に、本年も引き続き CIMAC との連携、ISO・JIS 関連の標準化事業を通して、会員の皆様のお役に立てるよう尽力して参りたいと思います。会員企業・団体の皆様のご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。本年が会員の皆様とご家族にとり、健康で実りの多い年となることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

